

山形大学校友会理事会（第25回）議事録

平成31年2月15日（金）

15時00分～16時10分

山形大学法人本部棟第1会議室

（議題）

- 1 平成30年度校友会支援事業の進捗状況について
 - (1) 校友会支援事業の進捗状況について
 - (2) 収支決算見込みについて
- 2 2019年度校友会支援事業について
 - (1) 予算概要（イメージ）について
 - (2) 「校友会として支援する2019年度事業の基本方針」と継続事業として優位性を認める支援事業等について
 - (3) 2019年度校友会事業計画書の申請様式について
- 3 平成30年度大学院学生表彰者（校友会長賞）の決定等について
 - (1) 30年度大学院学生表彰者（校友会長賞）決定者一覧について
 - (2) 「大学院学生表彰に関する申合わせ」の運用等について
- 4 その他
 - (1) 平成30年度校友会学生幹事の活動状況報告及び2019年度学生幹事の推薦依頼について
 - (2) 「平成30年度（第14回）山形大学OB & OGセミナー」の開催について
 - (3) 山形大学校友会の平成30年度における活動状況について
 - (4) 校友会理事等の校友会理事等の任期満了に伴う対応について
 - (5) その他

（出席者）

- 会 長： 小山清人（議長）
副会長： 野村一芳、山川光徳
理 事： 荒井大介、佐藤圓治、斎藤俊之、長谷部利信、木村康二、
佐藤和佳子（松田友美の代理）、上村勘二、齋藤博行、大場好弘、
高橋 和（是川晴彦の代理）、竹田隆一、中島和夫（鶴浦 啓の代理）、
佐藤 学、小笠原宣好、布施一明（伊藤雅彦の代理）、遠藤憲子
監 事： 内田勝男

（欠席者）

- 理 事： 國井正輝、高橋利昌、石川時彦、山下英俊
監 事： 佐川 馨

（列席者）

- 長岡エンrollment・マネジメント部長、樋口エンrollment・マネジメント部上席専門員、
橋間エンrollment・マネジメント部 EM 企画課副課長
大沼校友会事務局長、黒沼校友会事務局次長、富樫主任、大滝係員

議事に先立ち、小山会長から挨拶があり、代理出席者も含め出欠状況について紹介があった。

1 平成30年度校友会事業の進捗状況について

- (1) 校友会支援事業の進捗状況について
- (2) 収支決算見込みについて

議長から本件について提案があり、事務局から、「平成30年度校友会支援事業の実施状況」、「平成30年度収支決算見込み」について資料1-1、資料1-2及び資料1-3に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 本件は、去る2月1日(金)開催の校友会専門委員会(以下「専門委員会」という。)において資料に基づき説明し、了承されたものである。
- (2) 資料1-1は各事業の進捗状況を整理し一覧表にしたものであるが、現時点で、すでに終了した事業が8件、事業継続中が19件である。なお、事業の実施状況及び進捗状況の詳細は資料1-2で確認できる。
- (3) 今年度すでに事業が終了している8件は、それぞれのポイントを別途スライドで説明したい。(スライドによる説明を実施。)
- (4) 事業が終了した8件の事業実施報告書(別紙様式1)には、「達成度の自己評価(5段階による)」が記入されている。
- (5) 特に、事業継続中であるNo.8とNo.16の2事業については、専門委員会において事業の活性化に努められたいとの意見があり、学生幹事の意見等も聞いてもらいたいとの要望が寄せられた。
- (6) 平成30年度は継続19件及び新規8件の計27事業で、予備費を含め事業費予算総額は18,000千円であった。
- (7) 平成30年度の収支決算見込みは資料1-3のとおりであるが、収入の部ではほぼ全員に近い新生が入会したが、一般の入会者は想定より下回ったため全体では94万円の減、事業費及び運営費は今後の支出見込みも踏まえ19,400千円程度の決算が見込まれる。
- (8) 最終的な平成30年度の事業報告及び収支決算は会計監査を経た上で、例年6月に開催する校友会理事会において審議される。

種々審議の結果、議長から本件について諮られた結果、資料1-1の予備費使用済額をゼロに及びそれに伴う合計額(9,424,630円)も修正の上、原案どおり了承された。

2 2019年度校友会支援事業について

- (1) 予算概要(イメージ)について
- (2) 「校友会として支援する2019年度事業の基本方針」と継続事業として優位性を認める支援事業等について
- (3) 2019年度校友会事業計画書の申請様式について

議長から本件について提案があり、事務局から、「2019年度予算概要(イメージ)」、「校友会として支援する2019年度事業の基本方針」、「2019年度校友会事業計画書の申請様式」について資料2-1、資料2-2及び資料2-3に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 本件は、去る2月1日(金)開催の専門委員会において資料に基づき説明し、了承されたものである。
- (2) 2019年度予算の概要(イメージ)は資料2-1のとおりと考えている。
なお、事業費は、前年度と同規模の18,000千円を確保することとしたい。

- (3) 校友会支援事業の検討に当たっては資料 2-2 のとおり基本方針を策定しており、2019 年度支援事業についてもこの基本方針に沿って審議決定することになる。なお、前年度からの主な変更点は次のとおりである。
- ・支援事業の主な取り組みに「卒業生への応援」を新たに加えた。
 - ・最長 5 年が経過した継続事業を改めて「新規事業」として申請する場合には、以前よりも深化した内容となることが望ましい。
 - ・校友会が主体的に取り組む事業は、これまでの「継続事業」という考え方はしないで、ほかの支援事業とは区別して実施する。
- (4) 前回の専門委員会で審議の結果、資料 2-2 別紙 1 に掲げる 18 件は 2019 年度の継続事業として優位性を認め、採択金額は事業の実績等を精査して計上することとなった。また、平成 30 年度で継続事業の期間（最長 5 年）が終了するものが 4 件であることが確認された。
- (5) 「2019 年度校友会事業計画書」の申請様式は資料 2-3 のとおりとし、平成 31 年 3 月 29 日（金）を提出期限として照会する。
- なお、近日中には、関係機関に照会文書を発出したい。

種々審議の結果、議長から本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

～2019 年度継続事業として優位性を認める 18 事業～

(修学・グローバル化支援関係)

- 1 新興国学生大使派遣プログラム（5 年目）
- 2 山形美術館を活用した学生の学習支援事業（4 年目）
- 3 大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業（2 年目）
- 4 博士課程学生研究発表奨励事業（2 年目）
- 5 学生による地域の課題解決支援プログラム（2 年目）

(課外活動支援関係)

- 1 科学で東北盛り上げ隊（5 年目）
- 2 子どものまち・いしのまき復興支援事業（4 年目）
- 3 ビーチサッカー大会 in 庄内（3 年目）
- 4 各キャンパス大学祭への支援（2 年目）
- 5 公認サークルへの支援（2 年目）
- 6 山形大学駅伝大会への支援（2 年目）

(就職やキャリア支援関係)

- 1 学生中心に行う優良企業訪問への支援（5 年目）
- 2 本学 OB・OG から学ぶ業界・仕事研究セミナー（4 年目）
- 3 障がい学生に特化したキャリア支援（3 年目）
- 4 地域の未来を担う公務員志望学生に特化した早期自己開発キャリア支援（2 年目）
- 5 学生によるキャリア Cafe の運営（2 年目）

(保護者、本学運営等関係)

- 1 山大学生による山形大学のための情報発信プロジェクト（3 年目）
- 2 オペラの教育機能を活用した《附属校との協働》及び《高大連携事業》の推進（3 年目）

★校友会が主体となって取り組む事業★

- (1) 卒業生の「人財バンク登録事業」を活用した学生支援事業〈⑤〉
- (2) 校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈〈⑤〉
- (3) 若手卒業生の組織化支援〈⑤〉
- (4) 卒業生と大学・学生との連携推進事業（卒業生等による学生支援体制の整備）〈③〉
- (5) 校友会「学生幹事」による校友会PRと自主的な活動支援〈③〉

○平成30年度をもって「継続事業」の期間が終了したもの

- 1 実践教育プログラム英語合宿（5年間継続）
- 2 校友会推薦図書コーナー「後輩には是非、こんな本を読ませたい！」（5年間継続）
- 3 山形大学・米沢栄養大学・米沢女子短期大学雪合戦大会支援（5年間継続）
- 4 山形大学校友会大学院学生表彰制度（5年間継続）

3 平成30年度大学院学生表彰者（校友会長賞）決定について

- (1) 30年度大学院学生表彰者（校友会長賞）決定者一覧について
- (2) 「大学院学生表彰に関する申合わせ」の運用等について

議長から本件について報告願いたい旨発言があり、事務局から、12名の大学院学生表彰（校友会長賞）の決定結果について、資料3-1、資料3-2及び資料3-3に基づき概ね次のような説明があり、了承された。

（内容）

- (1) 「大学院学生表彰に関する申合わせ（資料3-3）」に基づき、校友会長賞の被表彰者は専門委員会において決定することとなっている。
- (2) 今年度推薦のあった大学院学生12名は全員が表彰基準のいずれかに該当すると判断され、専門委員会として12名全員を被表彰者に決定した。
なお、昨年度受賞した大学院学生も1名含まれている。
- (3) 表彰者には、「山形大学校友会長賞」として表彰状（資料3-2）と奨励記念品（金5万円）を贈呈する。
- (4) 表彰式は、理事会終了後にこの会場で執り行う。
- (5) 同一人が複数回受賞することは規定上想定していなかったもので、ご意見をお聞きしたい。
- (6) なお、専門委員会が出された主な意見は次のとおりである。
 - ・優秀な学生なら何回受賞しても良いのではないか。
 - ・大学院の前期課程と後期課程の1回ずつの受賞であれば良いのではないか。
 - ・推薦者数が予算枠定員をオーバーする場合は何らかの対応が必要ではないか。
 - ・文系の大学院から推薦がないのは残念であり、何か良い方法はないか。

なお、専門委員会が出された意見に対し、概ね次のような意見交換があった。

- 専門委員会では、なるべく多くの学生にチャンスを与えることが主旨だと思うが、優秀な学生の複数回受賞は良いのではないかとの意見で一致した。
一方で、文系大学院の推薦がない理由についてもお聞きしたい。（野村副会長）
- リーディング大学院の学生が多いように見受けられる。各専攻ごとに一定の枠を設けてはどうか。（佐藤（和）代理理事）
- ◎ 各研究科における推薦数は資料3-3の別添資料のとおりとしている。（事務局）

- 社会文化システム研究科は修士課程のみであり、現在の表彰基準で推薦するのはなかなか難しい面がある。(高橋代理理事)
- 校友会大学院学生表彰制度については、以前から全学としてやる意味には疑問であったが、平成 30 年度で「継続期間」が終了するとあり、来年度は実施しないものと考えてよいか。(木村理事)
- ◎ あくまで今年度で継続 5 年を終了する事業を資料に明示したものである。
事務局としては、点検評価の上で来年度以降も校友会が主体となって取り組む事業として実施したいと考えている。(事務局)
- 一定の意義が認められており、本事業は継続すべきだと思う。(山川副会長)
- 本日出された意見等も踏まえ、まずは専門委員会において検討してみたい。
(野村副会長〈専門委員会委員長〉)

種々審議の結果、校友会大学院生表彰制度についてその在り方等も含め、引き続き専門委員会において検討の上、次回理事会に諮ることとなった。

4 その他

議長から、次の 4 項目について報告したい旨発言があり、順次、事務局から説明があった。

(1) 平成30年度校友会学生幹事の活動報告及び2019年度学生幹事の推薦依頼について

本件について事務局から資料 4-1 及び 4-2 に基づき概ね次のような説明があった。
(内容)

- ① 「校友会学生幹事」1 年間の活動報告は、資料 4-1 のとおりである。
- ② これまで「校友会学生幹事ミーティング」を計 13 回開催し、さまざまな意見や要望が出され、校友会の諸活動について理解してもらった絶好の機会となった。
- ③ 今年度「校友会学生幹事」が取り組んだ活動は、次の 5 つである。
 - ア 校友会ツイッター活用による情報発信
 - イ 校友会学生幹事による大学祭「いも煮」ブース出店
 - ウ ツイッターフォロワー数拡大のための「新年あけましてプレゼント企画 2019」を実施
 - エ 「山大生の活動支援プロジェクト(Ⅱ)！」の実施
 - オ 新入生のための「Tea Party & キャンパスライフガイダンス」の実施
- ④ 2019 年度「校友会学生幹事」の推薦は資料 4-2 のとおりであり、近日中に各学部長に依頼文書を発出したい。

(2) 「平成30年度(第14回)山形大学OB&OGセミナー」の開催について

本件について事務局から資料 5 に基づき概ね次のような説明があった。
(内容)

- ① 本件は、来る 3 月 9 日(土)に資料 5 のとおり開催する。
- ② 今年も、「山形大学東京サテライト」から近い「田町グランパーク」において実施する。
- ③ 今回のセミナーでは、教育実践研究科担当の出口毅教授と理工学研究科担当の野々村美宗教授に講演をお願いしている。
- ④ 山大教員による講演に加え、「現役山大生の活動報告」として、医学部 5 年の笹島陽香さんと理学部 4 年高橋幹佳さんに発表をお願いした。
- ⑤ セミナー開催に合わせて、山大オリジナルグッズの販売も予定している。

(3) 山形大学校友会の平成30年度における活動状況について

本件について事務局から資料6に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- ① 昨年9月に「各学部同窓会及び校友会と山形大学との情報交換会」を開催した。
- ② 昨年12月に「卒業生等首都圏ネットワーク」の総会及び特別講演会を実施した。
- ③ 今年度も「校友会会報」の発行、「校友会メールマガジン」及び「校友会 Twitter」による情報発信に努めた。
- ④ 今年度は23ヶ所の各同窓会支部総会等に出席し、多くの卒業生と情報交換する機会が得られた。

(4) 校友会理事等の任期満了に伴う対応について

事務局から、校友会理事の任期は2年となっており本年3月末をもって現理事は任期満了となる旨説明があった。これを受け、議長から、これまでご支援をいただいた各理事・監事に対し謝意が述べられた。

なお、次期理事の選出については、すでに関係機関の長に依頼済みであること並びに3月で校友会事務局の担当者も交代する旨報告があった。

(5) その他

特になし。

配付資料一覧

- 校友会理事会 席次
- 校友会理事・監事一覧 (H31.2.15 現在)
- 校友会理事会 (第25回) 次第

[資料一覧]

- 資料1-1 平成30年度校友会支援事業の進捗状況一覧
- 資料1-2 平成30年度事業実施報告書又は事業進捗状況報告書
(平成30年度の支援事業が終了した8事業<スライド資料>を含む。)
- 資料1-3 平成30年度収支決算見込み
- 資料2-1 2019年度予算概要 (イメージ)
- 資料2-2 「校友会として支援する2019年度事業の基本方針」
(2019年度継続事業として優位性を認める事業名一覧ほか)
- 資料2-3 2019年度校友会事業計画書の申請様式
- 資料3-1 平成30年度大学院学生表彰 (校友会会長賞) 決定者一覧
- 資料3-2 表彰状の様式 (山形大学校友会会長賞)
- 資料3-3 校友会大学院学生表彰に関する申し合わせ
(関連する参考資料を含む。)
- 資料4-1 平成30年度校友会学生幹事の活動報告
- 資料4-2 2019年度校友会学生幹事の推薦依頼文書
- 資料5 「平成30年度山形大学OB&OGセミナー」の開催案内
- 資料6 山形大学校友会の平成30年度における活動状況

[参考資料]

- 1 山形大学校友会会則
- 2 山形大学校友会専門委員会規程
- 3 校友会理事会第24回（H30.6.15）議事録
- 4 校友会専門委員会第27回（H31.2.1）議事録
- 5 校友会会報 No.12〈2018年9月発行〉
- 6 「山形大学基金」案内